



## 経営指針を創る会特集



**経営指針を創る会特集**  
「創る会」で経営姿勢が確立できた  
経営指針とは？  
経営指針の体系  
第42期 経営指針を創る会  
「成文化コース」のご案内



DOYU NOW

▼経営指針を創る会の趣旨は大きく分けて2つです。一つは、経営姿勢の確立(経営理念の策定)。もう一つは経営指針の成文化です。滋賀同友会の創る会はこの経営姿勢の確立にかなりのウエイトを置いて、いわゆる「道場形式」を主体としたカリキュラムとなっています。経営姿勢の確立のためには、まず、経営者自身が自分自身と向き合い「何のために経営しているのか」を追求するところから始まり、新たな「気づき」から自らを変えていくことで結実していきます。

▼「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉があります。本当に他人と過去は変えられないのでしょうか？ 過去に起こった事象の事実は変えられませんが、そのことへの解釈は変えられるのではないのでしょうか？

▼経営者自身が変わることによって周囲の人たち(社員、家族)にも変化は起こり得るものです。もしそれでも変化しない人たちがあるとすれば、ご自身とは縁遠い人なのでしょう。経営者が変われば社員さんは変わるものです。経営者が成長すれば会社は成長するものと確信しています。

▼社員や会社を変えるには、まず経営者自身が変えることから。共に日々進化するために学び合しましょう。

アドヴァンシング 川邊和明

## 第42期 経営指針を創る会「成文化コース」のご案内

### 【お申込み要綱】

受講要件 ● 同友会会員で、以下の(1)～(8)の要件を全て満たしているか、経営労働委員長が、特別に受講を認める方。

- 以下の①②のいずれかの条件を満たしていること。
  - 社員を雇用している経営者であること。もしくは将来的に社員雇用の意思があること。
  - 現経営者(会員)より後継指名を受けていること。
- 所属支部の支部長・ブロック長からの推薦があること。
- 下記日程のオリエンテーション及び全7講に遅刻・早退・欠席なく参加すること。
 

※万が一、やむを得ない事情で欠席される場合は、必ず補講を受けていただきます。補講は別途有料です。
- メールの送受信、及び e-doyu での回答ができること。
- 各講の1週間前の締切日に、各課題をメールにて提出できること。
- 過去の自社の決算書等を持参し、必要な部分を公開できること。
- 同友会の支部及び委員会活動、全国行事に積極的に参加できること。
- 事前学習テキスト(書籍)を必ず読んでから参加すること。 ※テキストは事務局にて販売いたします。



講座名	日程	会場	内容
オリエンテーション	2019年 9月 5日(木)	草津市民交流センター(FerIE)	経営指針成文化と実践に向けて
第1講 (1泊研修)	2019年9月20日(金)～21日(土)	琵琶湖マリオットホテル	労使見解の精神に基づく経営理念を作成
第2講	2019年11月 2日(土)		科学性・社会性・人間性を具備した経営理念の土台を固める
第3講	2019年11月30日(土)		自社事業分析(SWOT分析・3C分析)による事業ドメインの策定
第4講	2020年 1月11日(土)		10年先の展望(10年ビジョン)と経営理念の確立
第5講	2020年 2月15日(土)		自社の財務分析と、中期経営方針の策定
第6講	2020年 3月21日(土)		経営計画の策定と経営理念から経営計画まで整合性の取れた経営指針書にまとめる
第7講	2020年 4月18日(土)	クサツエストピアホテル	経営指針書の完成と創り上げた指針書を外部に向けて発表する

受講内容は変更になる場合があります。

受講料 ● 16万円(税別/全7講の資料代・食費・宿泊費込み) ※テキスト書籍代は含まれません。

※参加費お支払い後のお申し込み受付とさせていただきます。

申込み締め切り ● 2019年7月31日(水) ※申し込み締め切り後のキャンセルは参加費全額のキャンセル料が発生いたします。

定員 ● 12名 ※受講者が定員に達し次第受付を終了いたします。

## 第42期 経営指針を創る会【成文化コース】参加申込書 事務局FAX 077-561-5334

- ① 受講に当たって全講を無遅刻・無欠席で参加します。
  - ② メール及びe.doyuでの出席登録を必ず行います。
  - ③ 提出締め切り日時までに各講の課題をメールにて送信・提出いたします。
  - ④ 受講中及び修了後は、支部及び委員会、全国行事に積極的に参加します。
- ※①～④の項目の□に✓を入れてください。

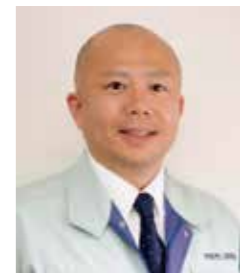
上記4項目を確認し、第42期経営指針を創る会(成文化コース)を受講いたします。

会社名	社内での役職	受講希望者氏名
業種(業務内容)	連絡用 電話番号	連絡用 E-Mailアドレス
社員数(パート・アルバイト含む)	( ) 支部・ブロック所属	
		(支部長名) 上記の同友会会員を創る会受講に推薦いたします。 印

※上記の情報は受講者名簿に記載いたします。

# 「創る会」で経営姿勢が確立できた

経営指針を創る会の魅力はこれだ!



(株)大西デンキシステム 代表取締役 大西 達也 氏 (第40期創る会修了)

昨年4月に創業20年を迎える事ができました。振り返ると小さな小舟でただ生活するが為に創業し幾多の荒波に沈没しそうになりながら、沢山の仲間との出会い・支え喜び・別れ・やりがい・悲しみ・後悔と消化しきれない複雑な想いを積み重ね歩んできた20年でした。

受講させて頂いた動機は次の20年「どんな気持ちでどんな会社にしたらいのだから?」そんな想いからでした。OB団よりの直球ストレートな質問に焦がされるように自問自答を繰り返す中で、社員・協力業者様・お客様・地域と何となくふわつとした関係性が

頭でクリアになり、夢のある揺るぎのない経営指針書を創ることが出来ました。孤独だった経営から一転、本気で一緒に目指してくれる仲間ができ、これからの長く険しく遠い航海も羅針盤を道標にわくわくしながら歩む覚悟ができました。自分事のように本気でおせっかいを焼いてくれるOB団との学びは自社の枠を超えた人間的な成長も繋がります。是非、受講をお勧めします!

**経営とは 経営者の人生観とも言い換えられる**



(株)日昇テクニカ 代表取締役 一圓 直基 氏 (第40期創る会修了)

以前より「創る会」の存在は聞いていたのですが、「自分には関係ない」「受講しても意味がない」など、どこかで自分にとっ

て都合の良い風に言い聞かせていました。しかし色々な事に悩み「このままではいけない」と意を決して受講しました。第1講より「何のために経営するのか?」と言う自社の存在理由を明らかにする為に「会社」、「社員」、「お客様」「自分」、「地域社会」の在り方向き合いました。すると今まで自分自身がいかにも真剣に向き合っていない事に気づき、恥ずかしさ、情けなさ、悔しさなど色々な感情を抱きました。OB団の方々から多くの学び、気づきを頂き、自分自身の考え方、人生観が大きく変化しました。創る会の一番の魅力は講師と生徒の関係ではなく、OB団も受講生も常に同じ目線であるところにあります。創る会卒業後はすぐにOB団に申し込み、現在も受講生の皆様から多くの学びや気づきを頂いています。社内での発表はまだです。たった半年の受講でこれから何十年と続く

度経営計画」の4つを一体として作成し、社員と共に実践することを推奨しています。この4つをまとめたものを「経営指針書」と呼んでいます。経営者をはじめ、全社員が常に「経営指針書」を意識して、それに基づき、業務、行動、思考を日々積み重ねることが労使が共に学び育ちあう「良い会社」になつていくための必須の条件だと考えています。

## 未来と展望の文章化



滋賀第一法律事務所 弁護士 近藤 公人 氏 (第40期創る会修了)

会社の指針書は出来上がりません。また、経営指針書作成に終わりはないと思っています。これからも、もっと多くの事を学び、経営指針書を成熟させていきます。現在少しでも興味をお持ちの方、迷っているのなら是非共に学びましょう!

事務所経営に悩んでいるときに、「経営指針を『創る会』は勉強になった」という弁護士の記事を見て、すぐに私は入会し、1年後に「創る会」に参加しました。また例会のグループ討論では、元労働者が「社長やトップが、未来展望がなく夢を語れないと従業員はついて行かない

い。また、社長の発言が日々ぶれていると従業員はついていけない」という言葉を聞き、これは絶対に「創る会」を受講しなければならぬと思いました。私がなぜ経営をするのか、私の事務所(会社)の存在意義を考え、今後3年、10年のビジョンを考え、そして自分の未来や展望や夢を、「創る会」で文章化していきました。「創る会」では、先輩方が自らの会社のように真剣に質問をしてくれ、多くの「気づき」がありました。そして、なにより、独りよがりの文章ではなく、科学性・社会性・人間性のある経営指針が創ることができました。

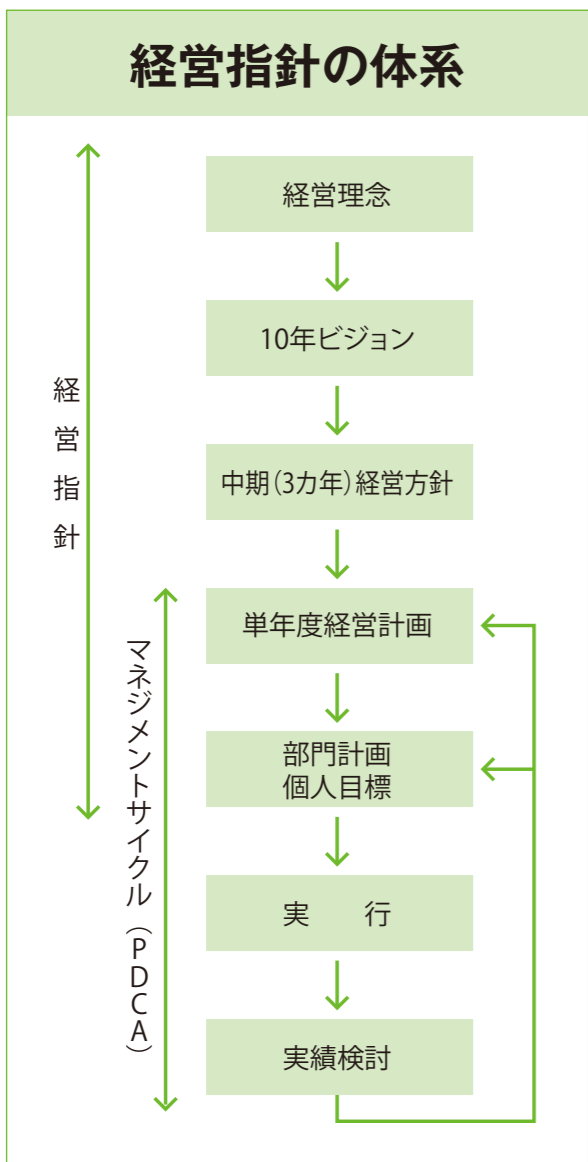
また「創る会」のオプションでは、深化した講座もあり、SWOT分析をしたり、経営者が最低限知っておくべき会計知識も習得できました。「創る会」を受講し卒業すると、他の経営者より一歩先を歩むこと間違いなしです。

## 経営指針とは?!

経営者が「何のために経営するのか?」と言う、自社の存在理由を「経営理念」として表明することは、会社を単なる人の集まりから、生命力を持った有機体にするための「魂」のようなものと言えるかも知れません。しかし、「理念」が出来たから、会社が着実に変わって行くほど単純なものでもありません。「理念」の実現に向けて自社の理想的な未来像(ありたい姿

ビジョン)を書きあらわし、自社の内部環境・外部環境などを分析し、適切な方針を立てる必要があります。また、方針を立てただけで、実際には日常業務に忙殺されて、同じところをぐるぐる回っているだけでは会社は一向に良くなりません。このため滋賀同友会では「経営理念」+「10年ビジョン」+「中期(3カ年)経営方針」+「単年度経営計画」+「単年

度経営計画」の4つを一体として作成し、社員と共に実践することを推奨しています。この4つをまとめたものを「経営指針書」と呼んでいます。経営者をはじめ、全社員が常に「経営指針書」を意識して、それに基づき、業務、行動、思考を日々積み重ねることが労使が共に学び育ちあう「良い会社」になつていくための必須の条件だと考えています。



## 世界でも注目される「理念」の大切さ!

### 基本理念をしっかりさせ、進歩を促す仕組みをつくるビジョナリーカンパニー

2001年に発行され、世界の経営者に大きな影響を与え続けている本があります。「ビジョナリーカンパニー」。業界で50年以上にわたって卓越し続け、尊敬し続けられている700社に上る企業を研究して来た二人のアメリカの研究者が書いた本です。そのポイントは書名のとおり「ビジョン(理念)に裏打ちされた会社」。2人の著者は、「自らの会社を成功し、尊敬し続けられる会社にするためには、何から始めればいいのか」という質問に対して、「基本理念をしっかりさせ、進歩を促す仕組みをつくることである」と答えています。これらの会社は、市場環境

の変化などによって、戦略を変えることは躊躇しませんが、基本理念を変えることはありません。ビジョナリー・カンパニーといわれる企業が、卓越した地位を獲得できているのは、将来を見通す力が優れているからでも、成功のための特別な秘密があるからでもなく、単に自分自身の役割が明確で、そのレベルアップをめざし続けているという単純な事実のためなのです。世界でも注目される「経営理念」の力。ぜひあなたの会社でも取り組まれることをお勧めします。

